



川口市立在家中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



・心身ともにたくましい生徒  
・自ら進んで学ぶ生徒  
・豊かな情操を培う生徒

## 故きを温ねて新しきを知る

校長 鈴木 玲

今、『昭和』がブームのようです。テレビなどでも1970年代から80年代ごろに活躍したスターやアイドルの歌唱映像などを目にするのが増えた気がします。少し古めかしいファッションが流行ったり、昔の街並みを再現しているテーマパークがあったりもします。70年代に幼少期を過ごし、80年代が青春時代ト真ん中だった我々からすると「懐かしい」と感じるものが多々ありますが、中学生などの現代の若者たちは初めて見聞きする『かつて』のものに、どのような思いを抱くのでしょうか？

在家中学校は2月に、1年生は川越へ、2年生は東京への校外学習を行いました。川越や上野・浅草といった街は昭和よりさらに前の時代の建物や文化を大切に残しています。長い年月を経てもなお今に残るものというのは、とても優れていたり人々に愛され続けていたりしたものに他なりません。川越のシンボルともいえる「時の鐘」や「喜多院」の五百羅漢像などからは昔の人々の生活様式や信仰心を感じることができ、関東大震災や戦争などを経て姿を変えた東京でも「浅草寺」の仲見世や「上野公園」などに、江戸の町人の往来や昭和のパンダブームで賑わう人たちの姿が想像できるほどの活気が残っています。そのような土地を実際に訪れ、一日中、仲間と巡った生徒たちはとても多くものを見聞きし、そこから様々なことを感じ、学ぶことができたはずです。

しかし、古いものをその当時のまま残しているものもあれば、古いものの中身を現代らしく作り替えたりしているものもあります。正直なところ、歴史的な街並みに不似合いと思われるものが作られることもあり、賛否はあるかと思えます。ただし、過去の優れたものから新しいものを生み出すことも文化の継承であり、創造性あふれる活動です。

「故きを温ねて新しきを知る」 温故知新とは〈古いことがらを学び直し、そこから新たな知識や理解を得る〉という意味です。今まさに時代の転換期を迎えています。コロナ禍を経て一層スピードを上げて変化する社会の中では、新しい情報や知識を得るとともに、過去のものを「古い」と安易に切り捨ててしまわずに正しく再評価することを、改めて意識する必要がありそうです。



今回の川越・東京の校外学習や今の昭和ブーム。これらをきっかけに、これまでに築かれた文化や風習を深く学び直し、それぞれの良さを再発見するとともに新たなものを積み上げていく。生徒たちには、その先駆者になってくれることを期待したいと思います。

### 3年生の保護者のみなさま

まもなく迎える中学校卒業、誠におめでとうございます。学校からお配りする最後の在家中だよりになります。保護者様におかれましては、3年間に亘っての在家中学校へのご支援ご協力、心より感謝申し上げます。在家中教職員一同、生徒たちの今後一層の活躍を期待するとともに、いつまでも応援し続けたいと思います。生徒・保護者のみなさまも、卒業後も地域の一員として在家中を気にかけて、支えてくださると嬉しいです。